

市民活動について

「市民活動」とは、市民のみなさんが自発的に行う非営利で公益的な活動を言います。ボランティア団体、NPO 法人、企業、地域住民、行政が、お互いの強みを生かし、協力してまちづくりを進める「協働」により、暮らしやすいまちにするための活動です。

I 市民活動の4つのルール

自分からやる

自分の意志で積極的に活動すると楽しく、やりがいを感じられ効果的な市民活動につながる事ができます。

力を合わせる

市民活動には、地域の人々の連帯を深める力があります。暮らしやすいまちにするために、お互いに学び合い、協力し活動しましょう。

利益を目的にしない

お金などの報酬を目的とするのではなく、役に立てたという充実感、人との出会い、発見や喜びを得るために活動しましょう。

まちをもっと良くする

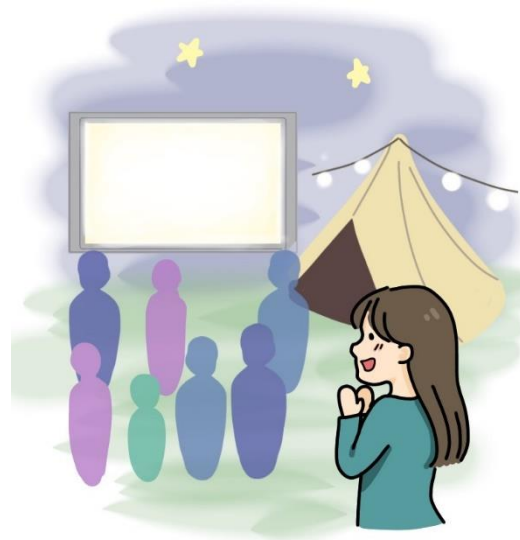
まちのために動くと、まちのことがよくわかります。地域で今、何が必要とされていることかを考え、住む人の力でまちをもっと良くしていきましょう。

Ⅱ わたしの市民活動体験談

地域のために生き生きと活動している5名の方の体験談をご紹介します。

私は館林の映画館で映画を観た記憶はなく、私にとって映画は縁遠い存在でした。そんな私がまさか映画館のない館林で野外上映会を企画する事になるとは自分でも驚いています。最初は何から始めたら良いか全く分からず、闇雲に打合せを繰り返していましたが、徐々に仲間が増えていき、他の上映会を観に行ったり、主催者にお話を伺ったりして準備を進めていきました。

遂に本番当日、私達が製作したスクリーンに映画が映し出された時はとても感動しました。**何も無いゼロの状態から仲間と共に創り上げる**そのわくわくする感覚が、今も私の**原動力**となっています。 40代女性



1942年生まれで、会社を定年退職し故郷に戻ってきました。館林の魅力をもっと知りたいと思い、ガイドの会に入りました。ガイドして一番良かったことは、お客様が**「案内してもらって良かった」と笑顔で帰ってくれた**ことです。

毎年秋に実施するオリジナルガイドは、会員がコースを考えてお客様を案内します。**「ぜひ続けてほしい」と好評**です。今後は日本遺産「里沼」についてもガイドしていきたいです。館林の魅力発信とお客様の思い出づくりに一役買ってみたい方、私達といっしょに活動しませんか。メンバーは皆明るい性格で楽しく活動しています。 60代男性





「遊び」の世界に感動し、1歩を踏み出しました。活動のきっかけは東日本大震災の支援活動で出会った足利市の方の「冒険遊び場（プレーパーク）」づくりに携わったことです。

この遊び場では子どもたちが泥遊び、手作りブランコ、木工作などなどやりたいことに夢中になって遊ぶイキイキとした姿があります。この場で思い切り遊んだことで、不登校気味だった子が元気に学校に行き始めるということもあり、「遊びが心の栄養源」であることを実感しています。

ピンときたことに1歩踏み出す。その行動からのご縁がワクワクする人生を創っています。

30代男性

館林市での貧困の実態を知り、子ども達の居場所作りが出来ないかと考え、子ども食堂を始めました。続けていくうちに、貧困の問題を抱えている家庭だけでなく、いつも家で一人でご飯を食べている子や、子育てに一生懸命なお母さん、一人暮らしのご年配の方や、車イスでお越しの方など、**みんなの居場所**になっていきました。

赤ちゃんからご年配の方までみんなで一緒に食べるあたたかい手作りご飯はとても賑やかで美味しいです。現在はコロナ禍により、食品の配布に切り替え、活動していますが、早くまた、**みんなの笑顔溢れる食堂**を再開したいです。

50代女性



ほぼ10年前、**退職後の第二の人生**をどう組み立てるかが大きな課題でした。そして悩んだ末に選んだのが「一度だけの人生…仕事一筋も悪くないが終盤には幅広い人生も…」でした。そして、大きな不安を抱えながら意を決して地元のボランティア団体(複数)に飛び込んだのです。

案の定、初対面の人々と交わるには強いストレスが伴いました。でも時間がそれを解決してくれ、いつしか今いる所が**自分の居場所**になっていることに気付いたのです。それはほぼ半年後のことでした。あれから10年、今はけっこう多色刷りの人生になっているかも…

70代男性

Ⅲ 活動のポイント

まずはできることから

ボランティア活動は得意な事やできそうなことからはじめてみましょう。無理はせず、自分の生活に支障が出ないように調整しましょう。

約束やルールは守りましょう

ボランティアは自分の意志で決めて行うものですが、約束をきちんと守って活動するのがボランティアのマナーです。他にも、時間を守って行動する、活動の場のルールに従うなど、みんなが気持ちよく活動できるように協力しましょう。ボランティアに参加する以上、そのボランティア団体の一員であることを意識してくださいね。

ボランティアはやってあげるもの？

ボランティアによって相手が喜んでくれていると実感できるのは活動の喜びの一つです。しかし、それが押し付けや「やってあげている」という気持ちになってはいけません。いつも相手が求めていることや、どう感じているかを尊重して行動することが大切です。



ボランティア保険に入ろう

安全にボランティア活動を行うために、ボランティア保険に加入することをお勧めします。保険の概要は p40 をご覧ください。